

2. IRを構成する施設（国際会議場施設及び展示等施設）



今後の計画進捗に伴い変更する可能性があります

（1）国際会議場施設の規模の考え方

和歌山の豊かな観光資源を背景に高度な施設機能と規模を有した「リゾート型MICE施設」が誕生

- 最大収容6,000人以上の大会議場と合計6,000人以上収容の中小会議室で構成され、政府や国際団体が主催する国際会議から各業界・協会が主催する大型カンファレンスまで、世界トップクラスの会合について余裕を持って開催することができる国内随一のキャパシティをもつ施設
- あらゆる規模のMICEイベントを取り込むことができる大小様々な施設が最適な配置でレイアウトされ、国際的な大型案件から地元主催者による小規模案件まで幅広いニーズを満たすことができる
- 会議場と展示場を一体利用できる国内初となるエクステンション型アリーナとして設計

（2）国際会議場施設の収容人員及び床面積

- 政府や国際団体による大型国際会議の開催に十分な中小の会議室を、適切な分割方式によって17室確保することができる。

| 室名 | 収容人員 | 床面積 |
|-----------------------------|-------------|-------------|
| 大会議場/アリーナ | 6,134 人 | 5,320 ㎡ |
| 小・中会議場（17室） | 52人～3,626 人 | 94㎡～3,445 ㎡ |
| ボールルーム・ グランドボールルーム | 11,065 人 | 10,515 ㎡ |
| ハイブリッドデジタルスタジオ ミーティングルーム | 3,675 人 | 3,869 ㎡ |

2. IRを構成する施設（国際会議場施設及び展示等施設）

（3）国際会議場施設の種類、機能、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

種類

| 項目 | 概要 |
|-----------------------------|---|
| 大会議場/アリーナ | 可動式座席設置可能な1階フロアとそれを取り囲む固定式座席が配置された上層階で構成され、MICE棟1階フロアは展示場施設と併設しており一体的な活用が可能 |
| 小・中会議場 | MICE棟3階フロアに配置され、可変的な間仕切りにより大小様々な会議開催が可能 |
| ボールルーム・ グランドボールルーム | MICE棟5階に配置され、可変的なレイアウト対応により大規模イベントや宴会等の開催が可能 |
| ハイブリッドデジタルスタジオ ミーティングルーム | MICE棟3階に配置され、各種通信設備や放送・撮影設備を備えるとともに、VR技術等を活用したオンライン/リアルのハイブリッド型会議等の開催が可能 |

機能

- 国内初のエクステンション型MICE施設として、トップクラスの国際会議に必要な高度な機能と、日常的な会議需要にも対応した利便性を両立
- ポストコロナを意識したハイブリッド型コンベンションに対応した未来志向のインフラを整備

外観及び内装の特徴

- 外観は、世界トップクラスの各種会議が開催可能な規模をもち、その屋上に配置された大規模な太陽光発電パネルにより、和歌山IRがめざす持続可能なIRを象徴するデザイン
- 内装は、壁面に設置される大規模な映像ディスプレイと、諸室ごとに異なるテーマでデザインされた質感高い内装により、デジタルとリアルが融合したハイブリッドな世界観を表現

設置及び運営の方針

- 世界水準のMICE施設により、これまでにないMICEを誘致/開催することで日本のMICE業界の成長に貢献していく。また、各種通信・放送・撮影設備を始めVR技術等を活用したオンライン/リアルのハイブリッド型会議等の開催可能なポストコロナの変化に対応した設備やテクノロジーを導入し、マーケットの変化に対応していく。

（4）展示等施設の規模の考え方

地域のマーケットに最適な規模と多様なニーズへの対応により新たなMICEの機会を創出

- 約2万㎡の展示場は、エクステンション型アリーナの機能を備えているため多様なMICEイベントの開催が可能
- 2つのフロア（それぞれ約12,000㎡）に渡って配置され、複数のMICEの同時開催に適しており、施設の稼働率を向上させることが可能
- 国内開催におけるボリュームゾーンである1万㎡台の中規模の展示会にも余裕をもって対応可能なキャパシティを有し、地域の産業領域と密接な連携を行いながら“創出型”で企画・誘致を行う

（5）展示等施設の収容人数及び床面積

| 室名 | 収容人数 | 床面積 |
|----------|---------|----------|
| 展示室A(1階) | 6,135 人 | 12,270 ㎡ |
| 展示室B(2階) | 6,095 人 | 12,190 ㎡ |

2. IRを構成する施設（国際会議場施設及び展示等施設）

（6）展示等施設の種類の種類、機能、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

種類

| 項目 | 概要 |
|----------|--|
| 展示室A(1階) | 移動式間仕切り、アンカーボルト設置可、床耐荷重1.5～2t/m ² 、梁下高さ8m程度 |
| 展示室B(2階) | 移動式間仕切り、アンカーボルト設置可、床耐荷重1.5～2t/m ² 、梁下高さ6m程度 |

機能

- 隣接する会議場と一体利用が可能なエクステンション型アリーナとして、通常の展示会に加え多彩なMICEイベントが開催可能
- 複数案件の同時開催に対応したレイアウトと、未来志向のインフラを整備

外観及び内装の特徴

- 外観は世界トップクラスのMICEイベントが開催可能な規模を持ち、その屋上に配置された大規模な太陽光発電パネルにより、和歌山IRが目指す持続可能なIRを象徴するデザイン
- 内装は、国際会議場施設と同様に壁面に設置される大規模な映像ディスプレイや質感高い内装により、デジタルとリアルが融合したハイブリッドな世界観を表現

設置及び運営の方針

- 世界水準のMICE施設により、BtoBの展示会のみならずBtoCの各種イベントの開催に対応することにより、様々な日本のMICE業界の成長に貢献していく。またリゾート型MICEの強みを生かした運営に努めるとともに、エクステンション型アリーナやポストコロナの変化に対応した設備やテクノロジーの導入等の特徴を生かし、マーケットの変化に対応する。

（7）国際会議場施設及び展示等施設の設置及び運営の方針

M・I・C・E別のターゲット

これまでの日本にない多種多様な楽しみを提供できるIRの魅力、和歌山及び関西エリアのもつ自然・文化・歴史など地域の魅力、さらには海外との誘致競争を視野に日本がもつ魅力を踏まえ注力分野を設定する。

| 区分 | 注力分野 | 1案件あたりの来訪者規模 |
|----------------------------|--|--|
| Meeting/ Incentive Tour | 金融、保険、医療、製薬、医療機器 など | 主たる対象：10～300名 中長期視点：300～3,000名規模 |
| Convention | 観光、農業/食品、環境、海洋、防災、宇宙科学/ロケット、医療/医学、製薬、統計 など | 主たる対象：50～300名 中長期視点：300～10,000名以上 政府や国連主催の会議 |
| Exhibition/ Event | 観光、農業/食品、防災、宇宙科学/ロケット、医療/医学、製薬、医療機器 など | 創出/育成型の案件を中心に 100～1,000名 |
| | 自転車、マラソン、トライアスロン、エクストリームスポーツ等の和歌山の自然を生かせる領域、eスポーツ、ドローンレース など | 100～10万名まで幅広く想定 (コンテンツや開催期間による) |

2. IRを構成する施設（国際会議場施設及び展示等施設）

（8）国際会議場施設及び展示等施設の業務の実施体制及び実施方法

取組方針

| 区分 | 取組方針 |
|----------------------------|--|
| Meeting/ Incentive Tour | <p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リゾート型MICEの優位性を活用し、金融・医療等のボリューム層、DXを推進する企業などを対象とし、外部提携予定先である国内主要旅行エージェントと連携した案件誘致を実施 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーザーズ・エンターテインメントにおけるVIPリスト及び営業・企画ノウハウの活用、国内最大手PCO(提携予定)による営業網、前述の旅行エージェント、これらと連携した案件誘致を実施 ・海外でのインセティブツアーの営業に関しては、和歌山県がこれまで培ってきた海外エージェントとの繋がり等を活用した誘致活動を展開 |
| Convention | <ul style="list-style-type: none"> ・国内最大手PCO(提携予定)の案件開発メソッドを基に、和歌山県の地域特性と地元産業/学術・研究/文化/歴史等を活用し、実践的にターゲットを開発 ・Conventionは、海外の場合は開催5年以上前には誘致活動を開始する必要があるため、MICE運営組織内に誘致専門の体制を構築、中長期的視点で活動を推進 |
| Exhibition/ Event | <ul style="list-style-type: none"> ・主にBtoBが中心の展示会の場合、産業との結びつきが重要であるため、和歌山及び関西広域で案件ターゲットを定め、誘致と合わせて「新規創出」にも注力 ・案件の創出には、主催事業を手掛ける必要性があり、MICE施設の運営組織内に「自主開発チーム」を設置し推進 ・ConventionとExhibitionに関しては、連動開催も多いため、領域横断的な活動を実施 ・Exhibition開催は、スタートアップ育成やビジネスマッチング等の支援活動と親和性が高いため、これらのイノベーション開発事業についても並行して実施 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽コンサート等の様々なショー、スポーツイベント、eスポーツやドローンレースといった主に一般市民向けイベントに関しては、関西広域はもとより、広く全国から集客することを視野に、各興行の権利保有者や主催者との提携により有力コンテンツを誘致 ・シーザーズ・エンターテインメントの保有するネットワークを活用した海外からのイベント誘致も実施 |

実施体制及び誘致体制

- 実施体制は、実績豊富な専門会社をはじめとするMICE運営コンソーシアムへ委託する方式とし、高水準のMICE経営をめざす
- 誘致体制は、豊富な運営実績をもつ国内最大手PCO(提携予定)の知見のもと、M・I・C・Eそれぞれの分野ごとに特化したチームを組成
- 国内外のMICE情報を集約・分析・戦略立案を行う「MICEインテリジェントセンター」を設け、中長期でのMICE誘致活動をPDCAを回しながら計画的に取り組む体制を作る

誘致活動（主催者への開催支援を含む）にかかる資金とその調達方法

①IR事業者と和歌山県の共同施策

| | 実施する主な施策 | 実施期間 | |
|-----------|--|------|-----|
| | | 開業前 | 開業後 |
| 誘致プロモーション | 開催地決定に影響力のあるキーパーソンの招請やロビー活動 | | |
| | 新規市場開拓のための主要な商談会、見本市への出展 | ○ | ○ |
| | 和歌山MICEアンバサダーの設置 | | |
| 開催支援 | MICEイベントに応じた関連プログラム（プレ・ポストMICE等）などの企画提案及び開催助成、各種手配のサポート など | | ○ |
| 企画開催 | 和歌山のブランドイメージ向上のための企画展示会の開催 | | ○ |

2. IRを構成する施設（国際会議場施設及び展示等施設）

②IR事業者による施策

- ①とは別に、国内外のMICEマーケットにおける支援状況を鑑み、十分に競争優位性をもつことが可能となる水準として、M・I・C・Eごとに以下の一覧に示す活動を実施
- 開業までの誘致活動にかかる資金は資本金・借入金から調達し、開業後の誘致活動にかかる資金はIR全体の収益を毎年一定額を積み立てて実現性の担保を行う

| カテゴリー | 項目 | 実施期間 | |
|-------|---|------|-----|
| | | 開業前 | 開業後 |
| M/I | 主に誘致のエージェントに対してのインセンティブ設定及びその他マーケティング活動 | | ○ |
| C | 国際会議 招聘元団体への誘致活動・費用支援 | ○ | ○ |
| | 国際会議 開催時の宿泊数に合わせた支援及びその他マーケティング活動 | | ○ |
| | 国内会議 主催団体への開催活動・費用支援 | ○ | ○ |
| | 国内会議 開催時の来訪数に合わせた費用支援及びその他マーケティング活動 | | ○ |
| E | 誘致系：規模に応じた主催者に対してのインセンティブ設定及びその他マーケティング活動 | ○ | ○ |
| | 創出系：創出活動・費用支援 | | ○ |

従業員の確保・育成

①全施設共通の従業員の確保・育成方針

- 従業員の確保は、原則、以下の順序に従った優先順位に基づき、募集を行う

| 項目 | 内容 |
|---------------|--|
| 1.U/Iターンからの募集 | 魅力的な事業環境及び職場環境を整備し、U/Iターン人材の積極的な受入を実施 |
| 2.和歌山県民からの募集 | 和歌山県に存在する既存事業者にて十分配慮しつつ、地元雇用を優先的且つ積極的に行うことで、和歌山県が抱える生産年齢人口減少という課題解決に貢献 |
| 3.国内外からの募集 | 日本初の和歌山IRで働きたいと希望する人材を世界中から募集 |

- 従業員の育成は、以下2項目を基本方針として、社内で適切に従業員育成を行う

| 項目 | 内容 |
|-----------------------|--|
| 1.IRアカデミー研修制度 | 世界的カジノオペレーターであるシーザーズ・エンターテインメントや、世界複数か国でIR開発・運営実績をもつクリアベストのノウハウを生かし、専門性の高いIR研修制度を確立し全従業員が受講 |
| 2.個人のスキルに応じた公平な昇給昇格制度 | 社内資格制度などの取得状況等に応じた昇格の機会及び階級に応じた昇給のインセンティブを提供することで、従業員のモチベーション向上を図るとともに、社内研修制度を充実させ、従業員が平等に学習できる機会を提供 |

②MICE施設における従業員の確保・育成方針

- MICE各分野の専門人材を、MICE運営コンソーシアム企業からの派遣人材及び新規育成で調達する。MICE施設の運営等に関わる人材は、専門知識が必須となるため原則的には経験者による調達を想定しており、主に下記3つの手法を進めていく。
 - ①運営委託先のMICE運営コンソーシアム企業からの派遣人材
 - ②ヘッドハントによる業界内企業からの採用
 - ③観光系学生や地元関係業界からの育成視点での採用
- 特に上記③については、将来的に地域への雇用効果や人材が還流することによるMICE業界の形成などに貢献するため、和歌山県が実施する人材育成事業の取組等とも連携しながら、和歌山大学での寄付講座やインターシップの実施など多様なプログラムによって取り組んでいく。

2. IRを構成する施設（魅力増進施設）

（1）施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針



画像はイメージです

施設の種類、機能

テーマ「自然との共生」「人との共生」「歴史・伝統との共生」

- 人・歴史・伝統の礎である自然の恵みを起点に、美しい、楽しい、美味しい、健やかな、学びのあるモノ、コト、トキを提供し、感動体験を生み出す。

①日本の伝統文化に資する施設 【延床面積：4,000～4,500 m²】

主に以下の区画によって構成される集合施設

- 外国人にとっては非日常、未体験の日本文化の根源の1つである祭事（縁日）を模した区画
- 食を味わうことを通じて和歌山、そして日本の伝統を体験してもらう区画
- 食を味わうだけでなく、和食に欠かせない食材や調味料などを来場者自らが作る体験ができる区画

<主に以下の機能を提供>

- 縁日を模した空間での伝統演芸や日本の大衆演芸などの鑑賞体験、縁日にちなんだ伝統的建物での参拝文化体験や日本各地のお祭りフード文化体験
- 調理風景などの視覚的楽しみや、香りなどの嗅覚的楽しみを含めて、五感で楽しめる和歌山の郷土料理・和食体験
- 和歌山県を中心に国内各所で生産・製作された農産品・工芸品等の販売
- 和食文化のより深い理解を目的とした世界初の総合的な和食のDIY体験
- 日本が誇る大衆文化であるアニメ・漫画などのデジタルアートの展示及びNFTとしての販売
- 一冊単位で印刷・製本・販売可能な最新鋭のブック・オン・デマンド機器を活用した、来訪者の個別ニーズに応じたオーダーメイド印刷物の販売

②日本の精神性を訴求する施設 【延床面積：2,500～3,000 m²】

高野山や熊野古道とも関連する日本の精神性を凝縮した文化体験ができる施設

<主に以下の機能を提供>

- 若者も気軽に立ち寄れる雰囲気演出し、外部からの防音工夫を凝らした日本庭園の中で、日本の精神性や四季を楽しむ日本の文化体験
- お香などを焚いた日本の茶室空間で、高品質な茶葉を使用したお茶入れや味わいを楽しむ文化体験
- 僧侶による禅などの修行体験

③温浴体験施設 【延床面積：3,400 m²】

多様な文化背景をもつ外国人も最高の和の温浴体験ができる施設

<主に以下の機能を提供>

- 外国人の多様な価値観に配慮（水着の着用など）した上で、日本の伝統文化としての魅力を感じられつつも、賑わいを創出するモダンさも演出した温浴体験
- 浴室内外の休憩スペースにおける、和の安らぎ体験

2. IRを構成する施設（魅力増進施設）

外観及び内装の特徴

- 各施設の外観及び内装の特徴については、それぞれUndiscovered Japanのコンセプトのもと以下のとおりとする。

| 施設 | 外観及び内装の特徴 |
|---------------|--|
| 日本の伝統文化に資する施設 | 自然との共生や日本の伝統文化と先進技術の融合が体感でき、日本の伝統文化への精神的・物理的な没入を促す外観・内装 |
| 日本の精神性を訴求する施設 | 日本が古来から自然とともに育んできた精神文化や、万物に心を見出す精神性を新しい形で魅せる外観・内装 |
| 温浴体験施設 | 日本人に長く愛される温浴施設の和の風情が楽しめるのはさることながら、各国から来る多様な文化的背景をもつ若者からシニアまで幅広い年代が親しみを感じられるような、進化した日本文化を改めて表現した外観・内装 |

設置及び運営の方針

- 日本の食文化の魅力、日本文化の精神性は、欧米やアジアなどの多くの外国人にとって高い興味関心を示すものであり、それらに興味関心をもつ幅広い年代・地域から来る外国人旅行者全般をターゲット客層と想定している。
- 近年、世界的に衛生環境意識の高まりと健康に対する投資が盛んとなっている背景は、当施設が発信するウェルネス・ヘルスツーリズムと相性がよく、その需要が高まっている東アジア、東南アジア、米国、欧州諸国、豪州からの集客に力を入れ、プライマリーターゲットは東アジア、東南アジア諸国とする。
- 日本の四季に伴う日本庭園の景観の変化や旬の食材の変化の魅力を活用した、「来るたびに新しい」と感じられる工夫などにより、顧客のリピートを促す誘客効果の維持向上のための取組を行う。

（2）業務の実施体制及び実施方法

事業運営体制

- IR事業者で施設運営を行うが、一部施設を専門的知見と経験を有する企業と連携を図り、業務委託／運営委託による運営を検討している。
- 各施設の運営においては、周辺地域の事業者及び国内で豊富な実績を有する事業者と相互連携を行い、日本の魅力を最大限に引き出せる実施体制を構築する。

| 施設 | 運営主体 | 実績 |
|---------------|-------|---|
| 日本の伝統文化に資する施設 | IR事業者 | ・当施設に関わる運営実績を豊富に有する日本のエンターテインメント企業へ一部もしくは一般的な運営委託を予定 |
| 日本の精神性を訴求する施設 | IR事業者 | ・当施設に関わる運営実績を豊富に有する日本のエンターテインメント企業へ一部もしくは一般的な運営委託を予定 |
| 温浴体験施設 | IR事業者 | ・シーザーズ・エンターテインメントが運営するシーザーズ・パレスに併設される温浴設備も完備するスパ(QUA BATHS & SPA)は、過去に全米スパTOP100に選出されるなど米国を中心に高い評価を獲得してきた実績を有する |

従業員の確保・育成

- 全施設共通の従業員の確保・育成方針については、P12参照
- 国内外のエンターテインメント業界、IT業界、日本文化に深い理解を有する組織などの既存事業者からの中途採用を行うことを予定している。
- その他、協力企業として参画予定の事業者と良好な関係を構築することで、日本文化への理解が深く、専門性の高いエンターテインメント人材を出自者としてIR事業者を受け入れるなどの方策も予定している。

2. IRを構成する施設（送客施設）

（1）施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

種類及び機能、規模

- IR整備法施行令において送客施設に求められる機能を適切に整備し、地域の交通関連事業者とも十分な連携体制を構築した上で、和歌山IRから全国へ観光客の送客を行う。
- 送客施設を構成する各施設については、想定される来訪者の特性及び需要並びに来場者数を踏まえ、以下の規模を確保する。

| 機能 | 種類 (規模/収容人員) | 施設概要 |
|----------------------|-----------------------------|---|
| ショーケース機能 (多言語対応) | エキシビジョンギャラリー (450㎡/450人) | <ul style="list-style-type: none"> ・VR技術、3D技術などの最先端テクノロジーを活用し、観光地の魅力及び関連情報を臨場感あふれる形で発信 ・ICT技術などの最先端テクノロジーを活用し、タブレットなどのデバイスを利用したオンデマンドでの観光地の魅力及び関連情報を発信 |
| コンシェルジュ機能 (多言語対応) | ツアーデスク (300㎡/300人) | <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報や目的地までの移動手段などの情報を、ICT技術などの最先端テクノロジーを活用し提供 ・利用者の関心及びニーズに応じ、オーダーメイドでの計画も含めた、ツアーの計画などの提案及び販売 ・利用者のニーズに応じ、移動手段・手荷物運送・目的地における観光資源等の予約及び料金支払を含む、各種サービス手配を一元的かつシームレスに実施 |
| 交通機能 | バスターミナル (1,050㎡/1,050人) | <ul style="list-style-type: none"> ・交通拠点からIR施設への効率的なアクセスを可能とするルートを整備するためのバスターミナル |

外観及び内装の特徴

- 外観は、IR施設への来訪者のアクセス拠点として認知されやすいようなデザインを意識し、日本の四季や伝統文化などを色彩鮮やかに表現
- 内装は、ショーケース機能により、最先端の体感施設で日本及び和歌山の魅力を発信し、来訪者の特性に応じた興味喚起を行い、コンシェルジュ機能により、その来訪者に対して旅行に必要なサービスをワンストップで提供できるよう、送客施設として一体的に運営が可能となるよう計画

設置及び運営の方針

①基本方針

- 最先端技術を活用し、日本各地の観光地の魅力及び情報を臨場感あふれる形で発信するとともに、旅行に必要なサービスをワンストップで提供し、来訪者を各地へ送り出すことを送客施設として一体的に運営し、地方部と世界をつなぐ観光ゲートウェイを形成する。
- 各観光地における自然環境や地域の方々暮らしを守るための配慮も加味し、観光公害やオーバーツーリズム発生を防ぎ、真の観光立国としての付加価値の高い観光モデルケースを構築する。
- MICE施設をはじめとする各IR施設の来訪者を各地の観光地へ送り出すために、送客施設がIR施設全体の交通のハブとなるような機能をもたせる。
- 上記の基本方針を実現するために、観光情報のプラットフォームを構築し、アプリなどのデジタルデバイスを通じて最新の情報を適宜取得可能とするとともに、予約、決済等もできるようにする。

②送客の範囲の考え方

- 関西圏のみならず日本全国を対象とし、地方部へも積極的に送客することで、政府が掲げる目標の達成にも貢献する。特に、歴史的な繋がりが深い伊勢湾、紀伊半島、四国圏の観光資源を巡礼や食文化などストーリー性のあるテーマでつなぎ、新たな観光街道を形成する。

2. IRを構成する施設（送客施設）

③ショーケース機能及びコンシェルジュ機能として実施する具体的内容

| | 項目 | 内容(機能) |
|-----------|------------------------|---|
| ショーケース機能 | 最先端の体感施設で日本及び和歌山の魅力を発信 | 現実空間にアニメ・ホログラム・ホロポーテーションによる日本の大自然や原風景を投影すると同時に、視覚に限らず聴覚・嗅覚に訴えるコンテンツを制作し、日本及び和歌山、観光街道に赴く疑似体験を通じ、日本全国への興味関心と旅行ニーズを喚起 |
| | 来場者の特性に応じた興味喚起 | 来場者の単独での情報検索が可能となるタブレットなどのデバイスを利用した観光地発信機能により、後続のコンシェルジュ機能による具体的な観光案内に展開 |
| | デジタルと人を繋ぎ全ての人に満足 | ITリテラシー、語学、日本の観光地のノウハウを有する観光案内専門家がサポートし、「誰も置き去りにしない、誰にも優しいデジタルエンターテインメント」を実現 |
| コンシェルジュ機能 | 来場者の困りごとの把握 | 送客施設内を巡回し、声掛けを行うことで来場者の関心を把握し、必要な情報の提供やコンシェルジュによる対面サポートへの案内など実施 |
| | 来場者ニーズの把握・蓄積 | ・来場者の顕在的なニーズのみならず、潜在的なニーズも把握し対応 ・タブレット等のデバイスを活用して関連する情報提供やアドバイスなどを実施 ・観光データプラットフォームを活用して予約、交通混雑状況等を分析することで、適切な提案を行い、オーバーツーリズムなどにも対応 |
| | 観光商品の販売 | ニーズに則した観光商品の提案、空き照会、予約、決済をワンストップで実施 |
| | オーダーメイド旅行提案 | オーダーメイド旅行を希望する来場者には、観光情報に精通し、旅行企画・手配実績の豊富なコンシェルジュが対応し、VIPに対しては落ち着いた相談ができるプライベート空間で対応 |

- 交通機能については、来訪者がストレスフリーで周遊できる交通環境の構築に向け、和歌山IRを起点に県内の主要な観光地を定期運行で結ぶバスネットワークを整備するため、交通事業者等と協議を開始しているところである。また、バスターミナルやバス等の待合のための集合スペースを整備する。

④送客先の観光地・国内外の事業者との連携

- 送客効果を最大化するため、「IR事業者（送客部門）」「観光関連事業者」「地域、DMO等」の三位一体連携体制を構築することで、各ステークホルダー間の強みを生かしつつ、単独では実現が困難な施策を可能とする。

⑤多言語対応の方針(使用する言語等)

- 外国人旅行者の言語バリアフリーを実現するため、英語のみならず、多言語対応の施設内インフォメーションやパンフレットを設置するとともに、最大100ヶ国語以上の多言語対応を行う。
- 来訪者向けのアプリにおいても多言語対応とAI自動翻訳機を導入する。さらに、視覚・聴覚にハンディキャップのある方には音声や手話、文字対応をするなど、多様な属性の来訪者がサービスを不自由なく受けられるようにするため、ICTやAIなどのテクノロジー・ソフトウェアを積極的に活用する。

(2) 業務の実施体制及び実施方法

事業運営体制

- 送客に関連する事業を統括する事業統括部を置き、その下に旅行企画開発、運営、営業、総務を担当する部署を置く体制を構築する。
- 送客施設の運営にあたっては、以下により広域連携を含む計画の実現性を担保する。
 - ①各観光地との連携・関係性の構築を行い、最新情報の供給を受けられるようにするなど、送客機能を果たすための適切な体制を整備
 - ②各観光地や既存観光事業者とのネットワークを多く有する者を採用

従業員の確保・育成

- 全施設共通の従業員の確保・育成方針については、P12参照
- 送客施設の従業員は、特に「ホスピタリティノウハウ」及び「日本の観光地に関する知識」が重要になるため、それらに関する高度な知見及び専門性を有する従業員の確保を予定している。また、従業員の育成については、多様な来訪者に対して質の高いサービスが提供できるよう、外部の人材育成機関とも連携し、IR開業までの数ヶ月間十分な育成を行う。

2. IRを構成する施設（宿泊施設）

（1）施設の種類、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

- 世界中からのお客様に長期滞在していただくよう、幅広いニーズに対応した宿泊施設を設置する。当該宿泊施設は全てホテル形式で、「Typical Room」、「Players Suite」、「VIP Suite」など複数タイプの客室で構成される。ホテルブランドは、シーザーズ・エンターテインメントの「シーザーズ・パレス」で運営する。
- MICE施設や、魅力増進施設、送客施設等と適切に機能連携し、IR施設全体で相乗効果を生み出す。
- VIPに対して専用の顧客対応を行うことで、多様なVIPニーズに適切に対応し、「また来たい」と思わせる工夫を行う。また、「VIP Suite」などの最高級の客室を提供することで、これまで日本では十分に対応できなかった国内外の富裕層のニーズに対応し、新たな宿泊需要を生み出す。
- 開業当初は中国や韓国などのアジア諸国の顧客層が中心になることを想定しているが、シーザーズ・エンターテインメントの協力も得て、欧米豪からの顧客も主要ターゲットとして見込む。
- 来訪者の記憶に強く残る華やかでユニークな外観を特徴とするため、日本のツーリズムにおける代表的なアイコンとして海外の多くの人々が想起する建造物、一度は訪れたい旅の目的地として認知されることをめざす。

シーザーズ・エンターテインメント

- ・シーザーズ・パレス、フラミンゴ・ラスベガス、バリーズ、パリスなど米国で大規模宿泊施設の運営実績を有する。
- ・特にシーザーズ・パレスは、ラスベガスを代表する名門ホテルであるとともに、ラスベガスでも最大級のIR施設の1つである。

（2）施設の機能

- 複数の客室区分を設けることで、ビジネス向けからファミリー層まで多様な来場者層を想定した客室構成としている。
- オーシャンフロントの特性を生かした客室配置を行い、特に、24階・25階（最上階）のブリッジ部分にスイートルームを配置することで富裕層のニーズも充足し、和歌山IR全体のブランド価値向上にも貢献する。
- 各客室にはシャワールーム・高品質の各種アメニティサービス・ルームサービスといった機能だけでなく、バルコニーや客室内でのリラクゼーションサービスなど宿泊施設滞在者の顧客満足度を向上できる機能を整備する。
- クラブラウンジや、バー、スパ、フィットネスクラブ、プールなどを整備することで宿泊客の多様なニーズに対応する。

（3）施設の規模

- 総客室数は2,546室であり、また、スイートルームは614室と全体の約24%を占め、国際的なIR施設と比較しても高いスペックを誇る。
※諸外国のIRの宿泊施設
客室数：平均 2,495室
スイートルーム割合：平均 19.2%
- IR施設周辺エリアには旅館やビジネスホテルが多く、IR施設内の宿泊施設とはグレードや機能面も含め差別化を図ることができる。そのため、IR施設を含む周辺地域が一体となり多様な宿泊需要に対応できると考える。

2. IRを構成する施設（宿泊施設）

（4）飲食サービス

- バーラウンジ、高級レストラン、カジュアルレストラン・ビュッフェ・カフェなど多様な飲食サービスを国内外の様々な客層に提供することで、飲食を通じた楽しみをお客様に提供し、顧客満足度を高める。
- 世界レベルの高級ホテルに相応しい高付加価値な食体験を提供するため、国内・海外の有名レストランや業界団体と連携することで、富裕層を含め、「食」でお客様を魅了し、世界的水準の飲食施設を展開する。
- 飲食施設の全体プロデュースは、飲食施設を含め数々のハイエンド向け施設企画を手掛けてきた株式会社エグゼクィンターナショナルが行い、以下のミシュラン受賞歴のある店舗や有力業界団体との連携を行う予定である。

出店検討中のレストラン

| かどわき | WASA | 西玉 |
|--|--|--|
| ミシュランガイド東京2022：3つ星 店舗：東京・麻布十番 カテゴリ：日本食(割烹) | ミシュランガイド東京2022：1つ星 店舗：東京・恵比寿 カテゴリ：中華 | ミシュランガイド東京2022：ピブルマン 店舗：東京・白金、マカオ、マレーシア、香港 カテゴリ：日本食(焼き鳥) |

国内・国外包括連携パートナー候補 ※今後の詳細なコンセプト設計や出店レストラン選出などの支援を受ける予定

| JFDA (Japan Fine Dining Association) | Lai Sun Dining | ビエールエフィ株式会社 (Emmanuel Stroobant Group) |
|--------------------------------------|---|---|
| 「日本を世界一の美食の国に」をミッションに活動する業界団体 | 香港を拠点とし、グループとして北京、上海、マカオ、ロンドンなど世界各国に27店舗、19ブランド、10のミシュラン星（3つ星:1店舗、2つ星:1店舗、1つ星:5店舗）を現状獲得 | シンガポールを中心に数々の著名レストラン（Saint PierreやShoukouwaはミシュラン2つ星を獲得）を自社経営するとともに、アジア全土で高級ダイニングからケータリングサービスまでプロデュースしてきた実績を有する |

- 和歌山県所在の飲食事業者との出店・店舗プロデュース等の連携を図る。
- ルームサービスは24時間365日対応し、スイートルームに滞在するVIP向けに特別メニューを設け、顧客のカスタムオーダーにも応える。ベジタリアン向け料理、ハラール食など来訪者の文化的背景等に配慮した飲食サービスを提供する。
- ファミリー層なども楽しめるよう飲食施設のバリエーションを広げるとともに、施設内レストラン・飲食店におけるテイクアウトや客室からオーダー可能なサービスを提供する。

（5）その他付帯サービス

| 付帯サービス | 運営方針等 |
|-------------|--|
| 各種送迎サービス | VIPやウェディング利用者等においてはリムジン送迎など個別のニーズに応じた送迎サービスを提供し、一般顧客についてはバス事業者により近隣駅からホテル前までのシャトルバスを運行 |
| コンシェルジュサービス | 各種コンテンツ・サービスのご案内、予約手配などIR各施設とシームレスに連携し、コンシェルジュサービスを提供 |
| 高級リテール | ここにしかない日本の粋を集積させ、非日常的なショッピング体験を提供 |
| リテール | 和歌山の土産物や滞在者の多様なニーズに対応した日用品等も販売 |
| ビジネス・センター | MICE参加者や、ワーケーション・プレジャーでの来訪者等に対し、オフィススペースや、印刷機やIT機器の貸出等のサービスを提供 |
| スパ | 非日常的な空間で心と体に良いことをやり尽くす極上時間を過ごすための清めて整える究極のリトリート体験を提供 |
| フィットネス・プール | 滞在中のウェルネスを促進する上質なエクササイズ設備を提供 |
| バンケットルーム | 各種宴会やウェディングでの利用の他、オークションなどの国際的イベントも開催 |

2. IRを構成する施設（宿泊施設）

（6）設置ホテル別・提供サービス別の運営体制、参画企業とその実績

- 宿泊施設の所有及び経営はIR事業者が行い、宿泊施設全体の運営については世界的なホテルオペレーターであるシーザーズ・エンターテインメントに委託を行う。
- ホテル内レストラン、バー、スパ、フィットネスクラブ、バンケットサービスなどホテル運営に付随する各種提供サービス・機能は、IR事業者又はシーザーズ・エンターテインメントが中心となり提供することを想定しているが、必要に応じ、専門業者への運営委託やテナント入居等により、それぞれ提供するサービス内容に応じた最適な方法により運営する予定である。
- IR事業者内において、宿泊部門を統括する責任者を配置する。IR事業者として宿泊施設の経営を適切に管理できる組織体制を構築し宿泊施設全体を一体的に統括・管理することで、宿泊施設に関連する業務や顧客へのサービスの最適化が図られる体制を構築する。

参画企業の運営実績

- シーザーズ・エンターテインメントは、ゲーミング、エンターテインメント分野において世界最大の運営企業の1つであり、米国を中心に50以上のカジノ・ホテルを経営している。主な実績は以下のとおりである。

| 施設 | 場所 | 客室数 | 説明 |
|----------------------------------|----------------------|-------|---|
| Caesars Palace Las Vegas | ネバダ州ラスベガス | 3,970 | <ul style="list-style-type: none"> ・多数の著名レストランブランド、ショッピングモール、高級スパ、人気ナイトクラブ、7つのプールなどの様々な施設を併設 ・ショッピングモールは6万㎡以上の売り場面積を誇り、古代ローマの街路を模した内装に160ものショップを有する ・高級スパはCondé Nast Travelerにより全米トップ100スパに選出 ・U.S News and World Reportにおいて4.5つ星の評価を得ている他、World Travel AwardsによりUnited States' Leading Casino Resort 2021に選ばれるなど、過去様々な賞を獲得 |
| Paris Las Vegas | ネバダ州ラスベガス | 2,920 | <ul style="list-style-type: none"> ・パリをテーマに、エッフェル塔や凱旋門などのアイコンックな建造物が象徴的な建物 ・U.S News and World Reportにおいて4つ星の評価を獲得 |
| Harrah's Atlantic City | ニュージャージー州アトランティックシティ | 2,590 | <ul style="list-style-type: none"> ・アトランティックシティのマリーナ地区に立地し、ショッピングモールや、昼はトロピカルプール、夜はナイトクラブへと転換するガラス張りの屋内プールを併設 ・U.S News and World Reportにおいて4つ星の評価を獲得 |
| Planet Hollywood Resort & Casino | ネバダ州ラスベガス | 2,500 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハリウッドをテーマに、7,000人以上を収容するシアターや、ショッピングモールを併設 ・U.S News and World Reportにおいて4つ星の評価を得ている他、Corporate & Incentive Travel magazineによりAward of Excellenceを獲得 |

従業員の確保・育成

- 全施設共通の従業員の確保・育成については、P.12を参照
- 宿泊施設の従業員は、特に「語学力」及び「ホスピタリティノウハウ」などが重要になるため、語学力に長けた人材の新卒採用(外国人留学生含む)、旅行業界や航空業界などに従事経験のある人材の中途採用など高度な知見及び専門性を有する従業員の確保を予定している。また、地域におけるサステナブルな人材確保・人材育成を主眼に教育機関等と連携を図りリカレント教育を展開する。
- VIP対応の観点から、本場の一流料理人や、VIP滞在中のお世話をを行い、高度な要望に対して秘書的な役回りであることができる海外IRや超高級ホテルのバトラーをヘッドハンティングなどの手法で招聘する。
- 宿泊施設において即戦力となる人材育成のため、質の高い関西圏の近隣ホテルでIR開業までの数カ月間行うOJTや、シーザーズ・エンターテインメント社の米国のIR施設での実地研修などにより、積極的にグローバル人材の育成を図る。

2. IRを構成する施設（その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設）

（1）施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

ありとあらゆる人々が楽しめる「ボーダレスな娯楽空間」をテーマとした9つの施設を設置する。（名称・面積は変更の可能性あり）

プールドーム 【延床面積：4,000~4,500 m²】

- ドーム型で全天候営業が可能な人工ビーチを含むプール施設
- 水と緑に囲まれた周囲に溶け込むガラス張りのドーム型の外観に加え、南国のリゾートビーチを演出する内装
- 昼はビーチ・プールで遊ぶファミリー層を中心に、夜はナイトクラブのような演出で若者を中心として楽しめる空間を提供

eスポーツセンター 【延床面積：1,500~2,000 m²】

- eスポーツプレイヤーにとってのトレーニング施設兼用のゲーミング施設
- 快適にeスポーツがプレイできる先端設備が適切に配置されるとともに、観覧者にも高揚感を与える内装
- 国内外eスポーツ団体の合宿に最適なゲーミング機器、通信環境や主要なゲームコンテンツを用意し、eスポーツプレイヤーにとってのトレーニングや一般客がeスポーツを楽しむための遊戯空間を提供

超人競技センター 【延床面積：1,000~1,500 m²】

- 身体機能の拡張を行った上でのスポーツ（超人競技）のゲーミング施設
- 身体的ハンディキャップのない平等な条件で競技が楽しめる空間であり、全ての人を飽きさせない工夫を凝らした内装
- テクノロジーを活用して身体機能の拡張を行う人機一体の新たなスポーツ（超人競技）が実施できるとともに、参加者が新たな競技の創作も行えるような設備・空間、競技イベントを提供

ナイトクラブ 【延床面積：2,000~2,500 m²】

- アフターMICE利用や、若者のナイトエンターテインメントとしての利用を目的としたナイトラウンジ・クラブ施設
- ラウンジ空間ではMICEイベントでの硬い雰囲気から打ち解け、交友を生み出すような工夫を施すとともに、ダンスフロアでは熱狂を感じられるようなナイトエンターテインメントに適したデザインを施した内装
- アフターMICEの社交スペースとして飲食や音楽を楽しめる空間に加え、若者のナイトエンターテインメントとして踊り・音楽・飲食を楽しめる空間を提供

スポーツ施設 【延床面積：2,000~2,500 m²】

- フィットネスを含むスポーツ設備や、各種スポーツアクティビティなどが行える施設
- 若者からシニアまで様々なスポーツアクティビティを通してウェルネスの向上に没入できる空間デザインを施した内装
- カーディオやウェイトトレーニングが可能なフィットネスセンターや、外構でのジョギングなどを行うためのトラック、マリンスポーツを行うためのエリアを提供。また、様々なスポーツアクティビティに必要な器具のレンタルや着替え場所等も提供

先端医療センター 【延床面積：800~1,000 m²】

- 先端再生医療技術による未病、予防、美容をテーマに、健康寿命を伸ばすことに主眼をおいた医療施設
- 先端医療サービスをスムーズに体験できるよう配置するとともに、国内外の富裕層にとっても快適でラグジュアリーなウェルネス体験となるようインテリア等を施した内装
- 検診・再生医療を診療内容とした健康寿命延伸のための先端医療サービスを提供する。また、不測の事故等の発生時に応急処置を24時間体制で提供するなど近隣病院と連携する区域内クリニックとしての機能を有する

屋上農園 【延床面積：2,000 m²】

- 近代的手法も活用して、全ての季節を通してその時々々の旬の野菜・果実等を収穫できるよう栽培する農園
- 風景に溶け込む農園でありながら、周囲の近代的な建物・設備とも調和する先進性と自然がミックスされた外観
- 旬の野菜・果実等を栽培・収穫し、IR内飲食施設及びフルーツ狩り等を通して来訪者へ提供するだけでなく、定期的に当施設で収穫された野菜・果実等や周辺地域で収穫された農作物を販売するイベントを開催

キッズ広場 【延床面積：1,000 m²】

- 世界各国の子供たちが一緒になって参画する知育プログラムを展開する施設
- 子ども達が好奇心を持って様々なアクティビティに没入できるような、ワクワクを掻き立てるデザインを施した外観・内装
- 数時間～数日にわたって開催する知育プログラム（ドローンや先端ロボティクスを用いたイベントや講習会等）を提供

2. IRを構成する施設（その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設）

保育所 【延床面積：850㎡】

- 来訪者のもとより、IRで働く従業員が利用する24時間営業の保育施設

その他関連施設 【延床面積：159,850～187,150㎡】

- 駐車場 など

（2）業務の実施体制及び実施方法

- 基本的にIR事業者が施設運営を行うが、一部の施設においてはテナントに貸し出す方向で検討している。
- 各施設の運営においては、周辺地域の事業者及び国内選りすぐりの事業者と相互連携を行い、来訪・滞在を最大限に促進できる実施体制を構築する。

| 施設 | 運営主体 | 実績 |
|-----------|-------------------------|---|
| プールドーム | IR事業者 | ・シーザーズ・エンターテインメントが運営するラスベガスのシーザーズ・パレスには7つのプール、45のカバナ、65のデイベッドが備えられており、2万㎡以上の大きさを誇る。 |
| eスポーツセンター | IR事業者 | ・当IR事業者の役員であるマリオ・ホーは、世界屈指のeスポーツチームの1つであるESV5 Esports GroupのCEOとして豊富な経験や人脈を有する。ESV5はeスポーツチームとして2つの中国最大規模のリーグ(KPL、LPL)で高い成績を収めてきた他、MCNとして10,000人以上の動画配信者を抱えている。また、これまで様々な大規模eスポーツイベントを行政機関やグローバル企業群と共催した実績を有する。 |
| 超人競技センター | IR事業者 | ・当施設の監修を含めて連携を予定する超人スポーツ協会は、得意不得意、年齢、障害、資格を問わず、誰もが楽しくスポーツをする未来を創りたいと考え2015年に設立された協会であり、これまで数々の超人スポーツイベントや専用施設の開設実績がある。 |
| ナイトクラブ | IR事業者 | ・シーザーズ・エンターテインメントはラスベガス等で運営する多くの施設において、豊富なナイトクラブやラウンジの運営実績を有する。また、国内で過去40年以上のライブハウス運営実績を有するケントスグループにも当施設の運営を一部委託する予定である。 |
| スポーツ施設 | IR事業者 | ・シーザーズ・エンターテインメントはラスベガス等で運営する多くの施設において、豊富なフィットネス等のスポーツ施設運営実績を有する。 |
| 先端医療センター | 医療法人社団 宗仁会 (テナント) | ・宗仁会のグループ企業であるJSMGは、シンガポールの研究機関であるTemasek Polytechnicや、東京医科大学など世界5カ国の研究機関と連携して臨床研究や技術検証、技術応用等を行っており、宗仁会と協同で様々な先端医療技術を応用した製品やサービスを提供してきた実績を有する。 |
| 屋上農園 | IR事業者 | ・豊富な植物・果物園等の運営実績を有する企業へ連携・管理業務委託を行う予定である。 ・地域の農家等とも密接に連携を図り運営する予定である。 |
| キッズ広場 | 株式会社フライトパイロット (テナント) | ・運営を委託する予定のフライトパイロットは、国土交通省認定の無人航空機パイロットスクールを運営しており、全国トップクラスの卒業生を輩出している。また、認定農業法人としてスマート農業はじめ直播・施肥・農薬散布のドローンでの運用や、ドローン制御技術を生かしたスマートトラクターの運用など、ドローンの社会活動への転用においても高い専門性、豊富な実績を有する。 |
| 保育所 | 社会福祉法人 | ・運営を委託する予定の社会福祉法人は、国内で多数の保育園、こども園、プリスクール、児童クラブの運営実績を有する |

従業員の確保・育成

- 全施設共通の従業員の確保・育成については、P.12を参照
- 国内外のエンターテインメント業界やテクノロジー会社など既存事業者からの中途採用を行うことを予定している。
- その他、協力企業として参画予定のeスポーツ、超人スポーツなどの事業者と良好な関係を構築することで、専門性の高いエンターテインメント人材を出自者としてIR事業者へ受け入れるなどの方策も予定している。

2. IRを構成する施設（カジノ施設）

（1）カジノ施設の種類、機能、配置、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針



画像はイメージです

カジノ施設の機能

| 区分 | 機能 | 詳細 |
|------------------|------------------|--|
| カジノ行為業務 | ゲームの提供 | 専らカジノ行為の用に供される部分に、テーブルゲーム及び電子ゲームを配置し、カジノ行為を行う |
| カジノ行為業務を支援する業務 | メンバーシップ・カウンター | 会員登録や会員特典に関する情報提供を行う |
| | ケージ/クレジットオフィス | チップと現金の交換や、IRカードへの現金チャージ、バウチャーの払戻し等に加え、両替を含む特定金融業務の窓口業務を行う |
| カジノ行為区画内関連業務 | 飲食の提供 | カジノ行為区画内にバーを設置し、顧客に飲食物を提供する |
| | その他 | ・バー等での興行 ・エンターテインメント・ショー（歌謡やダンス等）の実施 など |
| 健全なカジノ施設とするための機能 | 入退場管理 | 顧客の入退場管理・本人確認を行う |
| | 監視及び警備 | カジノエリアが安全に運営されるよう監視・警備室を設置する |
| | 依存症に関する相談室 | 依存防止規程に則って、依存症相談のための相談室・相談窓口を設置する |
| | 苦情処理に係る業務を行うための室 | 顧客等からの苦情を受け付ける部屋に担当者を配置した上で、適切な是正を関係部署の責任者に進言し、苦情の内容とその対応結果を管理・記録・報告する |
| | カジノ管理委員会専用室 | カジノ管理委員会から派遣されたスタッフが検査・監査等の業務を行うためにカジノ施設内に専用室を設置する |
| その他の機能 | その他の顧客向け機能・設備 | ・各種トーナメントやイベントの実施 ・物品（タバコ等）の販売 など |
| | その他のバックオフィス機能・設備 | ・チップ及び現金のカウント・ルームや保管庫 ・カジノ関連機器等保管庫 ・カード（トランプ）のシャッフル・ルーム など |

2. IRを構成する施設（カジノ施設）

カジノ施設の配置

- 本棟 1 階のメインエントランスからロビーの正面、本棟の中心部分を構成するメイン・カジノと 1 階メザニンのVIPカジノ、さらに24階・25階のスカイカジノの4階層で構成される。専用のエレベーターやエスカレーターで各階のカジノフロアは相互に接続されており、一体的な運営がなされることで、一のカジノ施設となる構造とする。
- カジノ施設内は、3つのエリアにより構成される。

| エリア | 詳細 |
|---------------------------------|--|
| マスマーケティング・エリア (1階) | メインカジノは、マスマーケット向けであり、掛け金が少額の顧客をターゲットとした、アミューズメント志向の強いゲーム構成とする |
| プレミアムゲーミング・エリア (1階) | カジノ行為区画の東西隅に設けられた2か所のハイリミットエリアは、比較的掛け金の高い顧客層を対象とし、より充実したサービスにより、マスエリアとの差別化を図る |
| VIPゲーミング・エリア (1階メザニン、24、25階) | 1階メザニンのVIPカジノ、さらに24階・25階のVIPスカイカジノでは、顧客単価の高い層をターゲットとする。半個室又は個室に区画されたサロンを想定しており、内装やゲームの種類だけでなく、飲食物や接客サービスの点でもVIPのあらゆる要望に応える |

カジノ施設の外観及び内装の特徴

- 外観については、本棟ロビーのデザインに調和するものとする一方で、外部からはカジノ施設内部が見えないようにし、カジノ施設が訪問目的でない顧客に配慮し、過度な装飾、デザイン、サインージュを避ける。
- 内装については、シーザーズ・エンターテインメントのこれまでのカジノ施設のブランド・アイデンティティを基本にしなが、日本の文化や風習を踏まえた創意工夫や機能的デザインを融合させることをめざす。

カジノ施設の設置及び運営の方針

- 近隣諸国のカジノ市場を参考にしながら、日本固有の法規制や市場特性、周辺環境を鑑み、カジノ施設への来場者数を顧客セグメントや国籍ごとに算出し、テーブル及びカジノ関連機器の種類と台数・席数を配分して、カジノ施設のレイアウトを決定する。また、ピーク時の来場者数を十分に処理できるよう、入退場ゲートのキャパシティを設計する。
- カジノ施設周辺の動線については、カジノ利用がIR訪問目的でない顧客や未成年に十分に配慮する。カジノ施設へは、本棟メインエントランスとメインロビーを通過するのが最もアクセスしやすいが、ホテルやMICE施設、送客施設等はそれぞれ専用のエントランスやロビーが設けられており、他の中核施設へのアクセスにカジノ施設の入場口付近を通過する必要がないよう、顧客動線を工夫する。
- ボーダーレスというコンセプトのもと、VIPからマスまで顧客ターゲット層に対して、世界最高水準のゲーミング体験を提供することをめざす。
- 国の観光戦略の目標達成に寄与することを最重要視するため、外国人旅行者、特に一人あたりの消費額がより高いVIP及びプレミアム・マス層の獲得及びリピートに注力する。

(2) カジノ施設の数、規模

カジノ施設の数 1施設とする

カジノ施設の規模

| 床面積 | | | 収容人員 |
|------------------------|----------------------|----------------------|---------|
| IR施設全体 | カジノ施設全体 | 専らカジノ行為の用に供される部分 | 実際利用シーン |
| 697,000 m ² | 46,500m ² | 19,857m ² | 9,680人 |

※施設全体の床面積（建築基準法施行令上の壁芯面積）に対するゲーミング区域が占める割合は2.8%となる

※設計・施工段階の計画調整により、面積の変動が想定されるが、ゲーミング区域の床面積は、IR施設の床面積の合計の3%を超えない範囲で変更する場合がある